

1. 出発前の準備について

ビザの申請	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 種類()	ビザ申請先	<input type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	<input checked="" type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> その他() 語)		
勉強方法	単語帳で復習した。		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよ その費用)	<input type="checkbox"/> プログラム費用 73000 円 <input type="checkbox"/> 宿泊費用(寮/ホームステイ等) 円 <input type="checkbox"/> ビザ申請 円 <input type="checkbox"/> 渡航費(<input type="checkbox"/> 片道 <input checked="" type="checkbox"/> 往復) 204000 円 <input type="checkbox"/> 海外旅行保険料 18700 円 <input type="checkbox"/> 食費 約 17000 円 <input type="checkbox"/> その他(お土産、入場料等) 約 22000 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	フィンエアー	手配	阪急交通社 ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡空港→ヘルシンキ空港 →リガ国際空港	到着 時刻	14:00 【※移動時間(約12時間)】
大学(寮)への 移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 公共交通機関(<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車) <input type="checkbox"/> その他()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	大学が手配してくれたバスに乗ったため、移動費は不要。		
宿泊先	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ その他()	宿泊 手配	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で その他()
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 その他()	ルーム メイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの学生 その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	<p>寮の洗濯機がオンライン決済でクレジットカードが必要だったので持っておくと安心です。私はカードを持っていなかったの で、カードを持っている人と一緒に洗濯しました。</p> <p>学校や寮はもちろん、市街地のあらゆるところにWi-Fiがあっ たのでポケットWi-Fiが無くても日本と同じように生活することが できました。</p>		

3. 留学先の大学について

<p>プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）</p>	<ul style="list-style-type: none">・英会話、マナー講座、経済についての講義（英会話が主）・リガの旧市街の散策・ボートツアーや砂浜を歩いたり、博物館に行ったりするフィールドワーク・最終プレゼンテーション（ラトビアで過ごしたことの思い出など）
<p>留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）</p>	<p>寮の隣にスーパーがあったので、非常に便利だった。</p>
<p>留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）</p>	<p>入寮するときに、名前やパスポート番号を記入した。</p>
<p>休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に</p>	<ul style="list-style-type: none">・旧市街の観光・フィールドワークで仲良くなったギリシャの学生と食事をした・現地の学生との交流はなかったが、他の国から来ている大学生との交流はあった

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

旧市街地に行くと、日本人ということもあってか、現地の人の方から話しかけてきてくれることが多くありました。お土産を選んでいるときにも店員さんがいろいろと説明をしてくれることがあり、そこで英語を聞く力が付きました。質問することもできていい機会になりました。授業を聞くよりも、実際に市街地に行き、レストランで注文したり、店員さんにおすすめを聞いたりすることで、コミュニケーション能力が上がったと思います。さまざまなお店に行ってみると楽しいと思います。

他の国の学生と交流することで、日本人がいかに控えめかということが分かりました。外国の学生はとてもフレンドリーで、授業中の発言も積極的にしていた印象があります。交流を通して、積極性についても考えるようになりました。自分から声をかけてみると外国の学生とも仲良くなれるかもしれません。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）

大学の授業は、私たちに合わせて、先生がゆっくりと話してくれます。緊張せずに積極的に発表してみてください。最後のプレゼンテーションは2つの班に分かれて行いました。パソコンは2人ぐらいが持っておけば良いと思います。USBがあると便利です。

大学での英語の勉強は少なく、フィールドワークがほとんどでした。フィールドワークにおける移動費はかかりませんでした。フィールドワークでは歩くことが多かったので、動きやすい服装、歩きやすい靴の準備が必要です。荷物を入れておくのはリュックサックが良いと思います。水や軽食をもっていかなければならないこともあったので、それらが入るぐらいのサイズが良いと思います。

寮にはバスタオル以外のアメニティはありません。歯ブラシ、ドライヤー、変換プラグなど準備が必要です。日本では使えるものが電圧の関係で使えないこともあるので、しっかり調べておく方が良いと思います。様々な準備は必要ですが、帰りにはお土産などで荷物が多くなるので、必要最低限の荷物で行くことをおすすめします。現地で使ったお金は4万円程度でした。外貨両替は渡航前にしておくとう安心です。銀行や空港で両替は可能です。

留学を通しての感想

私は今回が初めての海外渡航でした。言葉だけでなく、生活習慣やルールなど身をもって体感することができ良かったです。初めてで慣れないことも多くありましたが、同じプログラムに参加している人たちと助け合いながら生活することができました。一緒に行った人たちはほとんどが初対面で、学年や学部もバラバラでしたが、このプログラムを通してとても仲良くなりました。このメンバーで本当に良かったです。

英語のスキルに関しては、短期間だったこともあり、格段に向上するということはありませんでしたが、レストランでの注文の仕方、コミュニケーションの取り方を学ぶことができて良かったです。

現地の学生との交流はほとんどありませんでした。しかし、サマープログラムで大学に来ているギリシャやジョージアの学生との交流がありました。一緒に食事をしたこともあり、とても良い経験になりました。

2週間の留学は、私にとって非常に良い経験になりました。日本では知ることが難しい異文化を知ることができて良かったです。良い仲間とも出会えて、良い思い出がたくさんできました。この経験をこれからの生活に生かしていきたいです。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマースクール／語学セミナー)

氏名	B さん		
所属	法 学部・大学院 法 学科・専攻		
留学先機関名	リガ工科大学 (国名： ラトビア)		
参加プログラム 区分	<input type="checkbox"/> 協定校サマースクール <input checked="" type="checkbox"/> 語学セミナー <input type="checkbox"/> その他：		
留学期間	2019 年 8 月 17 日－ 2019 年 8 月 30 日	留学開始 時学年	2 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	<input type="checkbox"/> 奨学金受給無し <input checked="" type="checkbox"/> JASSO 海外留学支援制度 <input type="checkbox"/> 国際奨学事業 (熊本大学) <input type="checkbox"/> トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 <input type="checkbox"/> その他 ()		

写真 貼



付

1. 出発前の準備について

ビザの申請	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 種類()	ビザ申請先	<input type="checkbox"/> 国内 <input type="checkbox"/> 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	<input checked="" type="checkbox"/> 英語 <input type="checkbox"/> 独語 <input type="checkbox"/> 仏語 <input type="checkbox"/> 中国語 <input type="checkbox"/> 韓国語 <input type="checkbox"/> その他()		
勉強方法	単語帳の復習、TED の視聴		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよ その費用)	<input checked="" type="checkbox"/> プログラム費用 44710 円 <input checked="" type="checkbox"/> 宿泊費用(寮/ホームステイ等) 28290 円 <input type="checkbox"/> ビザ申請 円 <input checked="" type="checkbox"/> 渡航費(片道 <input checked="" type="checkbox"/> 往復) 204000 円 <input checked="" type="checkbox"/> 海外旅行保険料 13410 円 <input checked="" type="checkbox"/> 食費 25000 円 <input checked="" type="checkbox"/> その他(お土産代) 20000 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	フィンランド航空	手配	阪急交通社 ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	福岡空港～ヘルシンキ空港 ～リガ空港	到着 時刻	17時 【※移動時間(約13時間)】
大学(寮)への 移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え <input type="checkbox"/> 知人の出迎え <input type="checkbox"/> タクシー <input type="checkbox"/> 公共交通機関(バス <input type="checkbox"/> 電車) <input type="checkbox"/> その他()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等			
宿泊先	<input checked="" type="checkbox"/> 寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ その他()	宿泊 手配	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 自分で その他()
部屋の種類	<input type="checkbox"/> 一人部屋 <input checked="" type="checkbox"/> 二人部屋 その他()	ルーム メイト	<input checked="" type="checkbox"/> 日本人学生 <input type="checkbox"/> 他国からの学生 その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	フリーWi-Fiが多いと聞いていたが、思ったより少なく、道を調べたりするのに苦労した。100ユーロ分の現金を持って行ったが、200ユーロ分くらいあっていいと思う。クレジットカードが使える店であれば、カードでの支払いがスムーズ。		

3. 留学先の大学について

<p>プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）</p>	<p>一番多かった English Communication Class は予想以上に易しいもので、英語力をつけるというより、基礎の見直しという感じだった。数回、ネイティブの速さで先生がお話する講義があり、それは聞き取るのが難しかった。しかし、先生方はわかりやすいように教えてくれるので心配はいらなかった。</p> <p>フィールドワークでは、バルト海や Koknese、ルンダーレ宮殿に行き、ヨーロッパの自然や歴史に触れることができ、忘れられない経験となった。</p> <p>授業後や日曜日は市街地に出てお土産探しや食事をした。</p>
<p>留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）</p>	<p>授業でうまく理解ができなくても、先生方は私たちに伝わるように説明しなおしたりしてくださった。また、寮生活で困ったことがあれば、ロビーの受付の人や、プログラムの担当の先生にメールで聞いて、教えてもらった。</p>
<p>留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）</p>	<p>成績を出すために必要なパスポートの写真を提出した。</p>
<p>休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に</p>	<p>休日は市街地で過ごした。たくさんお店があって、道も複雑だったので何度行っても楽しめた。先生方におすすめのお店を聞いて、そこのお店でラトビア料理を食べてみたりした。フィールドワークで知り合った日本好きなギリシャの方と一緒に食事に出かけたり、寮で話をした。</p>

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

最初の頃は、先生方の話は集中して聞かないとわからないくらいだったが、日が経つにつれて、ネイティブな英語を気楽に聞き取ることができるようになっていった。よりネイティブに伝わる言い方なども学ぶことができた。また、他国の留学生と一緒に行動をしてみると、海外の人たちは堂々としているし、何より、自分の意見をはっきり伝えているな、と感じた。私は自信をあまり持てないでいたので、少しその人たちの立ち振る舞いを見習おうと思った。海外は見たことないものであふれていて、たとえ伝わる自信がなくても積極的に現地の人に質問して聞いた。最初は少しためらいがあったが、だんだんスムーズに会話できるようになった。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関する事など自由に記載してください）

私が留学しようと思った理由は、「海外を大学生のうちを経験しておきたい、以前から憧れていたヨーロッパの街並みや文化に触れたい」というもので（もちろん語学力向上も）、かつ、留学期間、留学費用などを総合的にみて、ラトビアのプログラムに決めました。私のように、学習というより経験を重視したい人にはもってこいだと思います。多少英語力に不安があっても心配いらないです。物価も安いし、隣のスーパーマーケットがとても品ぞろえ豊富だったので、生活もしやすいです。日本の味が恋しくなる時があったので、少しだけ、日本食のインスタントを持って行って、時々食べたりするのもおすすめです。

留学を通しての感想

初海外で、一人で申し込んだということもあって、出発まではとても不安だったが、同じ留学メンバーがとても優しい人ばかりだったので、すぐ仲良くなれたし、何かあればみんなでも解決していった。この目でヨーロッパの街並みを見ることができたことがとても嬉しく、海外の人と似た生活を経験したり、日本とは違う気候・環境での行動ができて、本当に行ってよかったと感じた。自分の英語力はまだまだなんだと実感したが、それをバネに、英語コミュニケーションの勉強を熱心に取り組んでいきたい。周りの人達から「ラトビアってどこ？」と何回も言われ、自分でもそこまで説明ができなかったが、今ではラトビアのいいところをたくさん知れたので、一番おすすめしたい国となった。市街地以外のところにはあまり行けなかったのが、将来行ってみたいと思う。